

1 幼稚園

(単位:組,人)

年次	区分	組数	園児数			教員数			1組当たり 園児数	教員1人当たり 園児数
			男	女	計	男	女	計		
平成17年	旧水海道	23	265	220	485	4	42	46	21	11
	旧石下	27	287	322	609	2	38	40	23	15
平成18年	常総市	50	500	573	1,073	6	77	83	21	13
平成19年	常総市	48	504	566	1,070	6	73	79	22	14
平成20年	常総市	48	505	550	1,055	5	69	74	22	14
平成21年	常総市	48	496	522	1,018	5	71	76	21	13
平成 21 年内 訳	市立玉幼稚園	3	27	28	55		5	5	18	11
	市立岡田幼稚園	6	46	68	114		9	9	19	13
	市立飯沼幼稚園	6	60	50	110		7	7	18	16
	市立豊田幼稚園	3	21	29	50		4	4	17	13
	市立御城幼稚園	3	18	21	39		4	4	13	10
	私立水海道幼稚園	7	82	80	162	1	12	13	23	12
	私立二葉幼稚園	5	51	44	95	1	10	11	19	7
	私立きぬ幼稚園	9	91	108	199	1	12	13	22	15
私立石下幼稚園	6	100	94	194	2	8	10	32	19	

(注)各年5月1日現在

資料:学校基本調査

2 小学校

(単位:級,人)

年次	区分	学級数	児童数			教員数			外国人 児童数	帰国子女
			男	女	計	男	女	計		
平成17年	旧水海道	91	1,149	1,102	2,251	54	94	148	36	-
	旧石下	60	806	770	1,576	29	71	100	31	-
平成18年	常総市	152	1,964	1,861	3,825	83	165	248	84	1
平成19年	常総市	156	1,942	1,858	3,800	79	175	254	103	4
平成20年	常総市	158	1,918	1,850	3,768	81	170	251	126	2
平成21年	常総市	156	1,884	1,820	3,704	84	175	259	114	1
平成 21 年内 訳	水海道小	19	268	277	545	13	20	33	48	0
	豊岡小	14	170	163	333	7	18	25	10	0
	菅原小	8	64	61	125	4	9	13	0	0
	大花小	7	42	42	84	4	7	11	0	0
	三妻小	12	132	142	274	8	10	18	5	0
	五箇小	8	41	36	77	4	9	13	0	0
	大生小	7	82	80	162	4	8	12	2	0
	絹生小	14	177	153	330	7	14	21	2	0
	菅西小	8	102	97	199	5	11	16	1	0
	石下小	14	226	217	443	7	18	25	4	0
	豊田小	7	83	75	158	4	9	13	0	0
	玉田小	7	82	73	155	2	10	12	0	0
	岡田小	18	237	243	480	7	22	29	35	0
飯沼小	13	178	161	339	8	10	18	7	1	

(注)各年5月1日現在

資料:学校基本調査

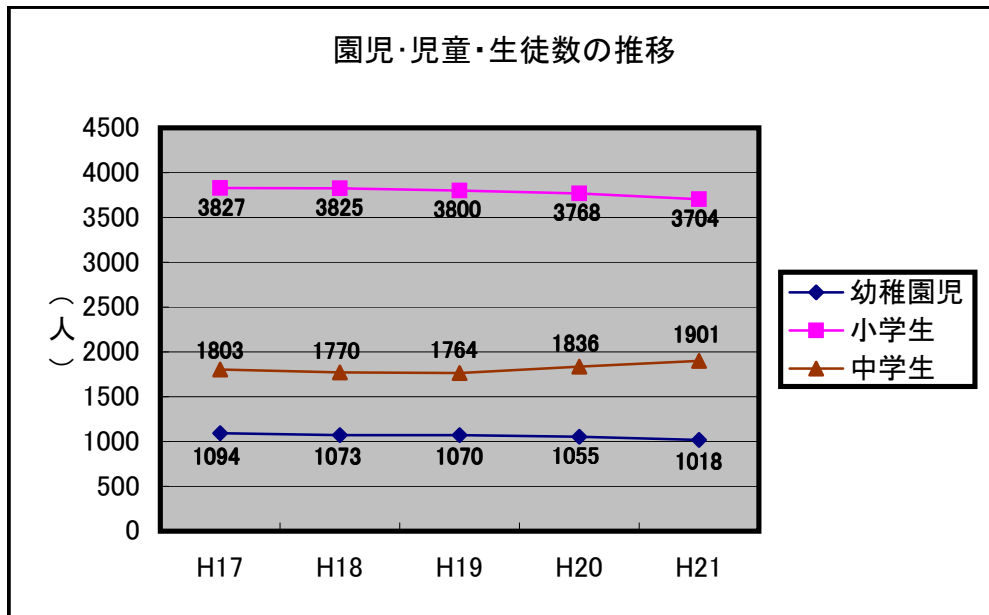
3 中学校

(単位:級,人)

年次	区分	学級数	生徒数			教員数			外国人 生徒数	帰国子女
			男	女	計	男	女	計		
平成17年	旧水海道	36	555	550	1,105	48	37	85	21	-
	旧石下	25	372	326	698	29	23	52	7	-
平成18年	常総市	60	908	862	1,770	78	53	131	24	2
平成19年	常総市	60	915	849	1,764	78	56	134	34	-
平成20年	常総市	63	950	886	1,836	82	55	137	39	1
平成21年	常総市	66	999	902	1,901	82	54	136	38	1
平成21年 内訳	水海道中	14	215	211	426	17	11	28	24	0
	鬼怒中	9	125	107	232	15	7	22	0	0
	水海道西中	16	249	222	471	24	11	35	3	1
	石下中	13	188	186	374	13	12	25	3	0
	石下西中	14	222	176	398	13	13	26	8	0

(注)各年5月1日現在

資料:学校基本調査



H16・17年の園児数・児童数・生徒数は旧水海道市と旧石下町の合計

減少する教員1人当たりの児童・生徒数

児童生徒数の減少は、当然ながら、園・学校数及び教員数など、教育資源の減少をうながすが、教員数は、教員1人当たりの生徒数を欧米諸国並みにするなどの政策的教員定数計画もあって、近年は横ばい、あるいは小幅な減少にとどまっており、この結果、教員1人当たりの児童・生徒数は一貫して減少してきている。

(財)日本統計協会「統計でみる日本2009」より